



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

国際ロータリー会長：ジョン・ケニー
第2570地区ガバナー：加藤 玄静

会長：田代 充雄
幹事：村山 廣道

会長エクト：鯨井邦男
副幹事：堀越 真

副会長：加藤 睦夫
SAA：加藤 恭保

TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http://www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com

熊谷西ロータリークラブ 会報

2009年～2010年度R1テーマ 「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS」

No. 36

第1595回 例会 (H22. 5.24)

例会日：月曜日 12:30～13:30/毎月最終例会：18:30～19:30/例会場：レストラン アーク2F/事務局：レストラン アーク1F

合同例会

(本庄南RC・熊谷RC)

例会場：本庄グランドホテル



司会 戸谷全克SAA
店鐘 19:00 山田勝治会長
ソング 「それこそロータリー」
「四つのテスト」唱和



店鐘 山田勝治会長

会長挨拶

田代会長



今回で4回目となった本庄南RCとの合同例会です。10名の会員と事務局で参加させていただきました。宜しくお願いいたします。熊谷西RCは本年創立35周年を迎え、先日記念式典を開催いたしました。貴クラブより山田会長さん、小松幹事さん、地区研修委員長浅田さんにご出席頂き本当に有難うございました。式典での吹上RC加藤勉さんの記念卓話「奉仕の心と俠気について」はとても面白かったと皆さんに好評で、祝賀会での懇親の席でも楽しいひと時を持つことが出来ました。40周年に向けての新しいスタートが切れたと感じております。

式典での会長挨拶では本年度の地区大会において講演された関場慶博氏の「ロータリーの未来」の話を引用させていただきました。関場氏は講演の中で「ロータリー活動の源、ロータリアンのやる気、モチベーションの維持には、達成感、責任感、ロータリアンとしての誇りや仲間意識、他人からの評価、感謝の言葉、等々ありますが第1番となるものは感動ではないか」と話されておりました。私もその通りだと思います。今ではロータリアンであることの意味、意識は変化しております。通常の定例会において会員の皆様に感動を与えるような企画はかなり難しいと思います。それは非通常のイベントや対外活動においてより多く得られるのではないのでしょうか。本日の合同例会もその意味で、感動を得る例会になることを期待し楽しく過ごさせて頂こうと思っています。



熊谷西ロータリークラブ 会報

2009年～2010年度R1テーマ 「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS」

本庄RC会長挨拶

山田勝治 会長



本日は、つい先日素晴らしい創立35周年記念行事を終えたばかりの、熊谷西RCさんとの合同例会です。

季節は皐月の候で、一番良い季節ですが生憎の雨で足元の悪い中にも拘わらず、田代会長さんをはじめ熊谷西RCの皆さんには、熊谷から遠い本庄の地へ、よう

こそお出で下さいました。

改めて歓迎する次第で御座います。

今日の合同例会ですが、お互いの情報交換、素晴らしい歓談が出来ればと思ひ、色々幹事、クラブ運営委員長が工夫を凝らしてくれておりますので、意義ある例会運営が出来ればと期待しております。

去る5月21日(金)の日に、本庄商工会議所の総会があり出席して参りました。事業報告で、本庄の商店の活性化のための事業等が報告され活発な事業活動であったと感じられました。議案については、原案通り承認され、平穏な総会でした。

それから昨日、本庄市国際交際協会の平成22年度総会が本庄市中央公民館で開催され、出席しました。

この会も設立15周年になり、現在茂木多美子会長以下個人会員179名、学生会員5名、協賛団体10団体の組織で、事務局を市の秘書課が担当して活動している団体です。本庄の地は埼玉県で外国人が働き、そして住んでいるのが一番多いそうです。

2. 事業予算はおおよそ300万円位 少し話は変わりますが、ごく最近ですが本庄の主要交差点に危険注意の「この先事故多発交差点」と言う立看板が立っているのにお気づきの人も居られるかと思いますが、日本語とポルトガル語の併記となっています。この地域はブラジルの人が多いための対策です。

それでは熊谷西RCの皆様には、例会の後の懇親の場では、時間の許す限りそして本庄南RC会員と歓談して頂き、明日からの事業活動、ロータリー活動にお役に立てて頂く事を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。



古屋委員

1. 活動事業については

(1) 研修事業

ポルトガル語、英会話、韓国語、中国語講座を年間に春、秋、冬と3回で1回が10日間の日程。そして多国籍料理教室ではベトナム、パラグアイ教室の開催。

(2) 広報活動

『フレンド』と言う広報紙を年2回の発行。

(3) 交流事業

お花見と餅つき、交流ランチパーティー、交流バスツアー、バーベキューパーティー、クリスマスパーティー、日本の正月文化体験講座。

(4) ボランティア事業

日本語を母語としない保護者への高校進学ガイドダンスへの協力、八都県市合同防災訓練へ参加(言葉が判らず避難の遅れ解消)、日本語教室(日本語が話せない外国人に日本語を教え、就業の機会の支援)通訳、翻訳のボランティア

